

大切なまち、
守りたい人がいます。



中野渡 直也さん (青森県 青森市青森消防団)



うちの孫は消防団員。
自慢の頼れる孫よ!

岩澤 磨生さん (岡山県 総社市消防団)



夫婦でまちの役に立ちたくて。

櫻井さん夫婦 (東京都 京橋消防団)



地域の防災、防火のために。

杉山 美希さん (兵庫県 神戸市長田消防団)



住み慣れたまちだから、
親子で参加しています。

神山さん親子 (栃木県 宇都宮市消防団)



人とのつながりを実感しました。

工藤さん親子 (青森県 青森市浪岡消防団)



心強い仲間達と活動しています。

埼玉県 入間市消防団 の皆さん



消防団員募集



地域の安心と安全を守るために、あなたにもできることがあります。

お問い合わせ先・電話番号

消防団のホームページはこちら!

<http://www.fdma.go.jp/syobodan>

消防団

検索

消防団員募集の手続き等については、市町村ごとに定められていますので、居住地(あるいは勤務地)の市役所・町村役場、または最寄りの消防署にお問い合わせください。



消防団協力事業所表示制度

消防団協力事業所表示制度

「消防団協力事業所表示制度」とは、事業所の消防団活動への協力を通して、地域防災体制がより一層充実されることを目的としています。認定を受けた「消防団協力事業所」は、取得した表示証を事業所に提示できるほか、自社ホームページなどでも広く公表できます。



機能別団員・分団制度

持っている能力や技術を活かし、役割や活動を特定して参加できるのが「機能別団員・分団制度」です。災害時はもとより平常時においても、様々な活動を通して、地域に貢献することができます。

機能別団員・分団の例

機能別団員	
火災予防・広報団員	OB団員
機能別分団	
バイク隊・水上バイク隊	女性消防分団
音楽隊	大規模災害のみ活動する分団

消防団員の主な待遇は？

消防団員には、市町村から年額報酬(数万円程度)と、災害活動や訓練への出勤時の手当(1回あたり数千円程度)などが支給されます。

公務災害補償	被服の貸与
消防団活動中に負傷した場合には、制度により補償されます。	消防団活動に必要な被服が貸与されます。
退職報償金	表彰制度
一定の年数以上勤務して退団した際に退職報償金が支給されます。	職務にあたって功労または功績があった場合には、表彰されます。

※各自治体・消防団で制度の内容が異なります。

入団するには？

- 1. 問い合わせる** 居住地(または勤務地)の市役所・町村役場、消防署までお問い合わせください。
- 2. 入団手続き** 市町村ごとに定める年齢に応じて入団できます。地域により居住要件等がある場合もあります。
- 3. あなたも消防団員に** 案内に従って手続きを完了すれば、晴れて「入団」となります。

消防団に関する詳しい情報はこちら

消防団

<http://www.fdma.go.jp/syobodan>



お問い合わせ先



大切なまち、守りたい人がいます。

中野 直也さん(青森県 青森市青森消防団)



岩澤 磨生さん(岡山県 総社市消防団)

消防団員募集

地域の安心と安全を守るために、あなたにもできることがあります。

「消防団」ってどんなことするの？



消防署とどう違うの？

消防署は常勤職員(消防職員)が業務に専念するのに対し、消防団員は各自の職業に就きながら災害時等に活動します。



災害時にどんな活動をするの？

消火活動や救助活動をはじめ、風水害の際は河川の水位の警戒や土のう積みなど様々な災害対応を行います。



仕事をしてもできるの？

できます。消防団員は通常各自の職業(会社員・自営業等)に就きながら、災害時の活動、平時の訓練、予防広報等に従事します。



女性でも入団できるの？できる活動は？



現在、約2万人の女性消防団員が全国で活躍しています。高齢者世帯への防火訪問や児童への防火教育、広報活動等で活躍しています。



訓練等はいつ行っているの？



仕事が休みの週末や平日の仕事が終わった後に集まって訓練等を行っています。



学生でも入団できますか？



市町村の条例に定める年齢に応じて入団できます。一般的には、条例で18歳以上を要件としており、実際に大学生・専門学校生の消防団員も活発に活動しています。



消防団は、消防組織法に基づいて各市町村に設置される消防機関です。

災害時の活動



消火活動

住宅や施設の火災では早期消火に努めます。また林野火災などの大規模な火災に際しては、近隣の消防団と協力して活動します。

救助活動

火災や自然災害の発生直後の初動期に、地域との緊密な連携を図り、災害現場や倒壊家屋などの現場で人命救助・避難誘導を行います。

水防活動

台風や豪雨など風水害の際は、河川の水位の警戒、土のうづくり・土のう積みのほか、排水・浸水防止などに迅速に対応します。

平常時の活動



防火啓発活動

火災予防等に関心を持ってもらうため、イベントでのPRやパンフレットの配布などの活動を行っています。

救命講習会

事故や急病の発生時に、救急車が到着するまでの素早い応急手当や、AEDの使用方法を指導する講習会などを行います。

住宅防火訪問

地域の防災意識の向上を目指し、各家庭を訪問して、防火指導等の啓発活動を行っています。

消防団員は地域のたくさんの人たちが、いろいろなカタチで活躍しています。



心強い仲間達と共にがんばっています。

岡山県 総社市消防団 岩澤 磨生さん

私たち総社市の女性消防団員は、「火災予防戦士ジュウケイガールズ」を結成し、住宅用火災警報器設置の普及啓発活動を行っています。PRの成果で市内の住警器の設置率は80%になりました！また、一人暮らしの高齢者宅の防火診断など、女性ならではの対応力を活かした活動にも力を入れています。



地域に夫婦共通の知り合いが増えました。

東京都 京橋消防団 櫻井 まり子さん

消防団の活動に興味を持ったのは、東日本大震災がきっかけです。もともと主人が団員だったので、スムーズに入団できました。消防団に参加したことで、夫婦で一緒に過ごす時間が増え、防災について話し合うことも多くなりました。地域に夫婦共通の知り合いができたことも大きな収穫だと思っています。



活動を通して親子の絆が深まりました。

栃木県 宇都宮市消防団 神山 暁さん

副団長をしている父から「そろそろやってみよう」と誘われ、自然に入団しました。消防団に入って良かったと思うのは、年齢が離れていて話す機会がなかった地元の人たちと知り合いになれたこと。また、活動について相談をするなかで親子の絆も深まりました。将来、自分の子どもにもぜひ勧めたいです。



応急手当普及員の資格も取得できます。

埼玉県 所沢市消防団 小林 美生さん

地域のお年寄りや子どもたちの安全のために、力になっていると実感できるのがやがいです。また、活動を通じて、強い信頼関係が結ばれた、かけがえない仲間もできます。応急手当普及員などの資格が取得できる点も大きな魅力。特別職の地方公務員という立場を自覚して行動することで、日常生活にも張りが出ます。



野球大会でチーム意識を高めています。

埼玉県 入間市消防団 関谷 道章さん

消防団のホームページ更新や活動をPRするポスター制作を担当しています。また、団員の結束をより強固にするため、消防団同士の野球大会を開催。各分団でユニホームも作り、健康維持にも役立っています。「自分のまちは自分で守る」という意識を共有できる地元の仲間が増えるのは心強いですね。



人づきあいが広がり積極的になれる。

青森県 青森市青森消防団 中野渡 直也さん

入団した時に仕事から電柱に登る機会が多かった私は、「はしご乗り」をやらないかと誘われました。現在は、防災活動しながら、観開式などで「はしご乗り」を披露して、消防団のPR活動もしています。活動を通じて、地域の人づきあいが広がり、自分がどんどん積極的になっていくのを感じています。



大規模災害時に発揮する、消防団の地域密着性と即時対応力。

平成25年も多くの災害が発生しました。このような中、消防団員は昼夜を分かたず献身的に災害対応に当たるなど、重要な役割を果たしました。



東日本大震災では多くの消防団員が活動しました

平成23年3月11日の巨大地震によって引き起こされた津波の被害に際し、消防団員は発生時から真っ先に災害現場へ駆けつけ、水門閉鎖、避難誘導、救助、消火、避難所の運営支援、夜間警戒、行方不明者の検索(捜索)など地域住民に必要な活動に従事しました。



平成25年9月 埼玉・千葉で竜巻が発生

平成25年9月2日午後2時頃に埼玉県南部、千葉県野田市および茨城県坂東市などにかけて発生した竜巻(推定F2)により、家屋や施設の全・半壊や一部損壊、農業被害や停電などの被害が出ました。消防団はがれきや倒木の処理、警戒などの活動を行いました。



あなたの経験を、地域防災に。

全国の消防団数	全国の消防団員数	女性消防団員数
約2,200団	約87万人	約20,000人

消防団の特徴

地域密着性 消防団員は管轄区域内に居住又は勤務	要員動員力 消防団員数は消防職員の約5.5倍	即時対応力 日頃からの教育訓練により災害対応の技術・知識を習得
-----------------------------------	----------------------------------	---

市町村



地域の防災体制



消防団は、消防組織法に基づき、各市町村に設置される消防機関。団員はそれぞれ自分の仕事を持ちながら、地域における消防防災のリーダーとして活動し、住民の安全を守っています。近年は女性の消防団への参加も増加。特に一人暮らしの高齢者宅への防火訪問、応急手当の普及指導などにおいて活躍しています。